

Be a gift to the world



2015-2016

半田南ロータリークラブ ●創立:1980.2.12 ●認証:1980.2.25

■会長/都築 利全 ■幹事/川澄 哲裕 ■例会/毎週火曜日 半田商工会議所
愛知県半田市銀座本町1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546

2015～2016年度
R.I.第2760地区

ガバナー公式訪問

半田RC・常滑RC・知多RC・半田南RC 合同例会

於:半田市福祉文化会館(雁宿ホール)

- 司会 S.A.A 永田 明世君
- ソングリーダー 山本 育輝君
- 国歌 「君が代」
- ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ピアノ 中田美由紀さん
- ガバナー公式訪問出席者
- ガバナー 加藤 陽一君
- 地区幹事 大竹 一義君
- パストガバナー 松本 宏君(半田RC)
- ガバナー補佐 村上 茂登君(知多RC)
- 分区幹事 中村 泰忠君(知多RC)
- ビジター 嶋口 克彦君(瀬戸RC)
- 半田RC 会長 小栗 利朗君をはじめ、総勢43名
- 常滑RC 会長 磯部 栄君をはじめ、総勢21名
- 知多RC 会長 永井 喜義君をはじめ、総勢14名
- 半田南RC 会長 都築 利全君をはじめ、総勢32名

クラブさんがブースを出店してくださいませ。当日は、みなさん、ぜひ知多ロータリークラブのブースに足を運んでいただきます様、お願い申し上げます。
この収益金は、「ミャンマーの水事業・教育事業」と「ポリオ撲滅」支援基金となります。また、10月31日(土)・11月1日(日)は岡崎東ロータリークラブがホストクラブで、国際ロータリー第2760地区、地区大会がウェスティンナゴヤキャッスルホテルで開催されます。全員登録参加で、どうぞよろしくお願い申し上げます。加藤陽一ガバナー、本日の卓話、どうぞよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、加藤陽一ガバナーにおかれましては、年間を通し過密スケジュールでございますので、健康に充分ご留意されて、一年間のガバナー職をお勤めされることを願っております。会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

会長挨拶

会長 都築 利全君

皆さま、こんにちは。私は半田南ロータリークラブ会長の都築利全です。大変僣越ではございますが、ホストクラブとして、半田ロータリークラブ、常滑ロータリークラブ、知多ロータリークラブ、半田南ロータリークラブの4クラブを代表し、会長挨拶を申し上げます。今日は、ガバナー公式訪問として、過密スケジュールの中、遠路南尾張分区の半田の地にご来訪賜りました、国際ロータリー第2760地区加藤陽一ガバナー、並びに大竹一義地区幹事、そして、ご臨席賜りました。南尾張分区村上茂登ガバナー補佐、松本 宏パストガバナー、また瀬戸ロータリークラブからビジター(同行者)として嶋口克彦君、ようこそお越しくださいました。心より感謝申し上げます。また、4ロータリークラブの会員の皆様、ご参集賜りまして、誠にありがとうございます。さて、この会場は昨年、半田ロータリークラブがホストで開催致しました、地区大会の会場でございます。そして、皆さんお気付きかと思いますが、大事な看板がございません。「半田南クラブにはお金がないのではないか?」と思われることと存じます。私は否定しませんが、これは、加藤陽一ガバナーのお心遣いでございます。今月のロータリーは、大きな事業が目白押しでございます。24日(土)・25日(日)にワールドフード+ふれ愛フェスタの事業がございます。南尾張分区を代表して知多ロータリー



委員会報告

●出席委員会

第1702回例会 10月13日(火) 天気(晴)

本日の例会は29名の出席にて、出席率は82.86%です。なお、前々回は4名のメーキャップにて91.43%に訂正します。

●Smiling Box

都築 利全君 今日、ガバナー公式訪問4クラブ合同例会です。加藤陽一ガバナー、大竹一義地区幹事、遠路半田市にようこそおいで下さいました。感謝申し上げます。本日の加藤陽一ガバナーの卓話は楽しみでございます。また加藤陽一ガバナーにおかれましては、年間を通して過密スケジュールでございますので、健康に充分ご留意されて、一年間のガバナー職を全うされますことを心よりお祈り申し上げます。

岩部 雅人君 妻の誕生日祝、ありがとうございます。キンモクセイの香る頃の恒例行事です。

○ガバナーをお迎えて

お世話になります。

沢田 侑君	小栗 雅彦君	竹内満寿夫君
加藤 金吉君	都築 延男君	永田 明世君
新美 茂君	石川 信行君	間瀬 正君
竹内 俊郎君	石川 勝彦君	榊原 肇君
榊原 邦彦君	都築 利全君	岡戸 利直君

山本 育輝君	杉浦 豊幸君	山本 慎治君
榑原 英君	岩部 雅人君	手島 嘉宏君
吉村 比富君	川澄 哲裕君	蛭川 勝己君
河合 英樹君	杉山 知子君	松林 信吾君
榑原 和久君	堀田 敏行君	

合計 29名 33,000円

卓 話

スピーカー

RI第2760地区ガバナー
加藤 陽一君

『ガバナー卓話』



● RIテーマ「Be a Gift to the World」
ラビンドランRI会長はスリランカの方で、テーマは「Be a Gift to the World」、日本語では「世界へのプレゼントになろう」です。1月、ガバナーになるために参加しなければならぬサンディエゴの国際協議会へ、女房ともども1週間行って参りました。最初は多少どこかで遊べるのではないかなと思っていたのですが、本当に朝から晩まで缶詰で、ロータリーの勉強をさせて頂きました。クラブ会長さんたちはRLI方式で3日間研修をされたと思いますが、あのようなことを毎日朝から晩まで行いました。その協議会の1日目にラビンドランさんがこの「Be a Gift to the World」というテーマをお話しになりました。日本語では「世界へのプレゼントになろう」ということでしたが、これは少し英語と日本語が離れているのではないかなという気がしました。協議会には世界中のガバナーが500人程集まるのですが、日本の同期のガバナー 34人と毎日色々話をしており、その中で「この日本語はどうなのだろう？」ということで喧嘩諍諍と議論しました。ロータリーの研修リーダーであるパストガバナーの方も交えて話をしたのですが、「まあこういうふうに訳されたからしょうがないだろう」というような言い方をされていました。しかし話し合うで、「プレゼントというのはやはり分かりにくい。『世界へ奉仕しよう』、あるいは『サービスしよう』という言葉に置き換えたなら理解しやすいのではないか」ということになりました。同期のガバナー 34人が今、私と同様にあちこちの公式訪問でお話をされていると思いますが、たぶん同じようなことを言っておられると思います。ラビンドランさんはヒンズー教の熱心な信者だと聞いております。私にはヒンズー教と仏教の違いもよく分かりませんが、ラビンドランさんは「人間の価値は、いかに得たかではなくて、いかに施したかによって決まる」と仰っております。これは仏教も似たようなものではないかなと思うのですが、そのような考え方がラビンドランさんのベースにあり、「Be a Gift to the World」というRIテーマにされたのではないかなと思っております。

● 地区方針

その協議会から帰って、色々と考え、地区方針は「ロータリーの原点に学ぶ～友情と寛容の輪を拡げよう～」とさせて頂きました。最近の新しいロータリアンを見ると、少し我々の感覚と違うのではないかなという

感じがしております。例えば、7月に会員増強セミナーを行い、会員増強委員長さんや会長さんなどに沢山集まって頂きました。その中に、ポロシャツを着て半ズボンの方がおられました。会長さんがですよ。幹事さんはポロシャツと、海岸ではくようなズボンをはいていました。まさかロータリアンではないだろうと思っていましたが、聞いたらロータリアンだというのがわかりました。皆さんご存じのように、RIそのものが「職業分類は5人までいい」というようにいい加減になってきて、入会のハードルを下げている訳ですね。ハードルを下げれば、参加する方も気楽な気持ちで参加するようになってしまいます。RIが決めたことですからそれでいいかもしれませんが、私はちょっと日本には合わないのではないかなという気がしております。そのようなこともあり、もう少しロータリーの原点に帰って頂きたいなと思って、地区方針を決めさせて頂きました。そのような話をしてしましたら、ある人から「原点というのはどこまでさかのぼるの？」という質問を頂きました。分かりません。少なくとも、10年20年程前の、厳しい中にも楽しいロータリー時代に戻って欲しいなと思って、こういった方針にさせて頂きました。

① 常にバッジを着用する

地区方針の内容は、まず「高潔なロータリアンを目指し、常にバッジを着用する」です。皆さんバッジを着けておられますが、中にはバッジを着けておられないロータリアンもいます。皆さん、胸にちょっと手をあてて下さい。バッジを着ければ、ロータリアンとしてのプライドを自動的に持てるのではないかと思います。やはりロータリアンである以上、私は常にバッジを着けて頂きたいと思っております。

② 例会に積極的に出席する

次に、「例会に積極的に出席し、ロータリーの活動を楽しむ」、エンジョイロータリーです。『『例会に出席し……』なんて、今更何を言っているのか』ということですが、中には出席率が非常に悪いクラブもあります。ただ、2760地区は、日本にある34の地区の中でも出席率はトップです。9月号の「ロータリーの友」や「ガバナー月信」にも載っております。それから会員数もトップです。聞くところによると、7月に東京の地区に5人負けたというような話がありますが、まだ確認は取っておりません。2760地区は会員数もトップ、出席率もトップ、それから、活動でもトップであると思っております。ワールドフード+ふれあいフェスタ(WFF)が10月24日、25日に、例年通り名古屋の栄で開催されます。去年は3日間でしたが、今年は2日間です。WFFは「ジャパンロータリーデー」と名付けられています。これは勝手に名付けた訳ではなく、RIの承認を頂いております。他の地区でもロータリーデーは行われていますが、「ジャパンロータリーデー」というのは2760地区だけです。なぜかと言いますと、WFFが日本の中心的なロータリーデーとして認められつつあるからです。WFFは、地区からは1銭もお金を出しておりません。ロータリー各クラブさんからも、企業協賛やチケットを買って頂くなどのご協力は頂いておりますが、お金は頂戴しておりません。会員からの寄付によらず、イベントによって収益を得ています。また、一般の方々にも「End Polio Now」を訴え、「ロータリーはポリオ撲滅を積極的に支援しているんだ」とPRをしながらご寄付を募っています。そうして得た収益金で、地区の国際奉

仕委員会の方が現地へ赴いてポリオ撲滅を支援し、あるいはミャンマーやカンボジアでトイレを作ったり、子供たちにノートや鉛筆などの教材を贈ったりしています。皆さん、WFFには去年も来て頂いたと思いますが、実際に行って頂くと少し変わった非常に美味しい食事もあります。是非ともWFFに参加して頂きたいと思います。

③ 自主的クラブの運営

次に、「自主的クラブの運営」です。今、2760地区には83クラブあります。83クラブのために地区があるのであって、地区が上から目線で「あれしなさい、これしなさい」と言うつもりはありません。ただ、先程のR Iテーマのようなことはお伝えしますし、各クラブで色々な困ったことがあれば、地区に相談して頂ければと思っています。ガバナー公式訪問で回っていますと、補助金のことでよく質問を頂きます。「補助金の締切は早過ぎて使えない」というお話を頂戴しています。これについては、「2年越しの計画を立てて頂いて、来年度こういった補助金の事業を行うかを会長エレクトさんと連携をとって頂き、今の会長さん幹事さんが補助金を申し込んで頂ければ、決して期限が早過ぎるということはありません」と申し上げております。また、地区の財団の方にも、「出来るだけ期限をぎりぎりまで延ばして下さい」ということもとっております。そのような各クラブでお困りのことがあればどんどん地区の方に言って頂ければ、色々協力させて頂きます。各クラブそれぞれが、それぞれの個性でもって活動して頂ければ結構だと思っています。各クラブがそれぞれ楽しい例会、楽しい活動をして頂ければ素晴らしいなと思っています。

④ 会員増強・退会防止

それから、「会員増強・退会防止」は、R Iではもう5、6年ずっと言い続けており、永遠のテーマのようなものです。先程も2760地区の会員数の話をしましたが、会員が減れば地区もR Iも困るということです。R Iではそのためにハードルを下げている、例えば「専業主婦も仕事の一つだ」ということを言っております。しかしこれは外国の話で、日本の話ではないと私は解釈しております。もちろん、専業主婦という職業分類でロータリアンになって頂くのは決してやぶさかではありませんが、やはりどこかで一線を引いて頂いた方がいいかなと思っています。そうした課題もありますが、会員増強を各クラブにお願いしたいと思っています。

⑤ 地区の改善・改革

「地区の改善・改革」については、今日の会長幹事懇談会でも色々な話を頂戴しました。地区の委員会の改革はなかなか難しいものです。なかなか聞いて頂けません。スケジュールも変えて頂けません。そのような状況ですが、地区として順々に改革していきたいと思っています。委員会も人数も出来れば少なくしたい。回数も少なくしたいと思っています。これは田中パストガバナー以来、一生懸命目指していることです。地区の活動をして頂くことは大変嬉しいことですが、あまり長く地区の仕事をしておられますと、クラブに帰った時に浦島太郎みたいになってしまったという方も存じ上げております。

● 地区からのお願い

私の地区方針に関しては以上ですが、次に地区からのお願いです。まず、先程お話ししましたWFFへのご参加をお願い致します。それから10月31日、11月1日には地区大会を、ウェスティンナゴヤキャッスルにて、

岡崎東RCさんのお世話で開催する予定です。講師はJR東海の葛西名誉会長です。リニア新幹線のお話をしますので、特に名駅RCさんには関係あるのではないかと考えております。是非とも地区大会にご参加頂きたいと思います。それから、6月にはソウルで国際大会を開催致します。ソウルでガバナーナイトを開催するつもりでおります。だいたい400人お越し頂ければ嬉しいなと思っています。国際大会は、今度がソウル、その次がアトランタ、というように毎年違う都市で開催されており、去年はブラジルのサンパウロでした。私は行くつもりはなかったのですが、近藤パストガバナーがどうしてもと言うので一緒に行って参りました。3泊7日で超特急の旅行でした。3日ブラジルにいて4日飛行機に乗っていたという大変な難行苦行の国際大会でした。そのような国際大会は大変ですが、ソウルは非常に近いところですし、是非とも参加して頂きたいと思います。それから、希望の風奨学金についてです。皆さんにお願いしていました東日本大震災被災高校生支援事業は終了しました。皆さんから頂戴した浄財はすでに現地に送っております。それが終わったからということではありませんが、この希望の風というのは3年前から始められたもので、震災で片親あるいは両親を亡くしたお子様が大学を卒業するまでの支援をするというプログラムです。震災当時0歳だったお子様が大学卒業まで支援するということで、全部で20年程、今後17年程に亘るプログラムです。ただ残念ながら、34地区のうち現在10地区程しか協賛頂いておりませんので、これから他の地区にもお願いする訳ですが、是非とも希望の風奨学金にお1人1,000円ということでご協力頂きたいと思っています。「ロータリーの友」9月号と「ガバナー月信」10月号に詳しく載っておりますのでご覧頂きたいと思います。最後ですが、「地区便覧」の後ろの方にも書いてあるように、R I会長賞に挑戦して頂きたいと思います。R Iから賞状が一枚来るだけでお金は何も出ませんが、名誉なことですので、是非ともR I会長賞に挑戦をお願いします。



次回の例会

第1704回例会 地区財団補助金委員会卓話
10月27日(火) 於：半田商工会議所